

記入例（私立幼稚園用）

捨印

記入不要です。

第2号様式（第4条関係）

押印してください。
(スタンプ印不可 シャチハタ不可)

請求日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

台東区長 宛

台東区施設等利用費請求書（償還払い用） 兼 口座振替依頼書

【 **令和8** 年 **4** 月 ~ **令和8** 年 **6** 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記のとおり請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んでください。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが、台東区内に居住すること。
2. 実際に利用していることを対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を対象施設に確認すること。
4. 課税状況を確認すること。

押印してください。
(スタンプ印不可 シャチハタ不可)

クラスに○をつけてください → 【 満3・**年少** 年中・年長 】

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ	タイトウ ハナコ	認定子どもとの続柄	母	生年月日	●●〇〇 年 〇 月 〇 日
氏名	台東 花子	印		現住所	〒 110 - 8615 東京都台東区東上野4-5-6 電話: 090 - XXXX - XXXX

認定種別(法第30条の4)	<input type="checkbox"/> 第1号 <input checked="" type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	認定番号	
生年月日	令和 〇〇 年 〇 月 〇 日	フリガナ	タイトウ タロウ
住所	令和8年4月1日~令和8年6月30日の間の住所	氏名	台東 太郎
	<input checked="" type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した		
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入		年	

認定番号の記入は不要です。

3. 償還払いの振込先口座(※1)

記入不要です。

※1 振込先は**請求者名義**の口座です。

※2 前回の請求と同じ口座を希望する場合は「継続」にチェックをつけてください。(継続の場合、口座情報の記入は不要です。)

4. 現在の在籍園(幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部・認可外保育施設)の名称等

フリガナ	〇〇ヨウチエン	所在地	〒 _____
施設名称	〇〇幼稚園	(区外の場合のみ記入)	電話: _____
在籍状況	令和8年4月1日~令和8年6月30日の間の在籍状況	<input checked="" type="checkbox"/> 期間中在籍	<input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入		年	月 日

5. 在籍園以外に利用した認可外保育施設等(※3)

①	フリガナ	〇〇ホイクシツ	所在地	〒 _____
	施設名	〇〇保育室(認可外保育施設)	(区外の場合のみ記入)	電話: _____
②	フリガナ	××ホイクシツ	所在地	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	施設名	××保育室(認可外保育施設)	(区外の場合のみ記入)	東京都〇〇区〇〇1-2-3 電話: XX - XXXX - XXXX
③	フリガナ		所在地	〒 _____
	施設名		(区外の場合のみ記入)	電話: _____

※3 在籍する幼稚園、認定こども園等で預かり保育事業を実施している場合は、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ、在籍園以外の認可外保育施設等の利用が無償化の対象となります。

在籍園が預かり保育事業を実施している場合は、上記に該当する場合のみ記入してください。(在籍園が上記に該当するかは、在籍園にご確認いただくか、区ホームページをご確認ください。)

<裏面も記入してください>

記入例（私立幼稚園用）

押印してください。
(スタンプ印不可 シャチハタ不可)

6. 私立幼稚園（新制度移行園除く）・国立大学附属幼稚園・特別支援学校幼稚部の利用における請求内訳

記入不要です。

- ※4 途中入退園の場合は、12ではなく当該年度の在籍月数で除してください(小数点以下切り捨て)。
- ※5 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該保育料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定してください。(小数点以下切り捨て)
- ※6 月の途中で利用終了する場合は、(平日の日数÷その月の平日の日数)×(450円、国立大学附属幼稚園の場合は500円)で算定してください。

在籍している幼稚園の預かり保育
を利用した際に支払った金額を記
入してください。

表面5. に記入した認可外保育
施設等に支払った金額を記入し
てください。

7. 在籍園の預かり保育

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等 に支払った金額 (d)※8	対象額合計 c + d (e)	給付上限額 (f)※9	請求額 (eとfを比較して 小さい方)
	施設に支払った 金額(a)	利用 日数	算定基本額(b) (450×利用日数)※7	aとbの 低い方 (c)※7				
令和8年4月	10,000円	20日	9,800円	9,800円	5,000円	14,800円	12,300円	12,300円
令和8年5月	8,000円	20日	9,800円	8,000円	1,000円	9,000円	12,300円	9,000円
令和8年6月	10,000円	20日	9,800円	9,800円	5,000円	14,800円	12,300円	12,300円
小計(②)								33,600円

490円×利用日数

- ※7 預かり保育事業の「預かり保育料」は、「施設に支払った金額(a)」と「算定基本額(b)」を比較し、低い方の金額を「預かり保育料」として記入してください。
- ※8 「認可外保育施設等に支払った金額(d)」は、※3のとおり、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。
- ※9 給付上限額は、法第30条の4の認定種別(施設等利用給付認定種別)が第2号の場合は12,300円、第3号の場合は17,700円となります。

8. 認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の利用における請求内訳

利用年月	認可外保育施設 に支払った金額 (保育料) (a)※10	一時預かり事業・病児保 育・子育て援助活動支援 事業に支払った合計利用 料 (b)	支払額合計 (c=a+b)	給付上限額 (d)※11	請求額 (cとdを比較して 小さい方)
------	---------------------------------------	---	------------------	-----------------	---------------------------

記入不要です。

- ※10 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定してください。(小数点以下切り捨て)
- ※11 給付上限額は、法第30条の4の認定種別(施設等利用給付認定種別)が第2号の場合は月額40,300円(幼稚園、認定こども園等に在籍している場合は12,300円)、第3号の場合は月額45,700円(幼稚園、認定こども園等に在籍している場合は17,700円)です。月途中で認定期間が終了する又は開始される場合か、市区町村間の転出入の場合、月額の給付限度額は次の通りとなります。
 - ・月途中で認定期間が終了する場合、または別の市区町村へ転出する場合の限度額：上記の給付上限額×転出日までの日数÷その月の日数
 - ・月途中で認定期間が開始される場合、または別の市区町村から転入した場合の限度額：上記の給付上限額×転入先での認定日からの日数÷その月の日数

9. 施設等利用費の請求額(合計)

記入不要です。

(上記の小計①～③の合計金額)

10. 添付書類

該当する書類を添付してください。(書類に不備等があると、支払いが遅れる場合があります。)

該当する書類が添付してあることを
確認し、チェックをつけてください。

確認欄	必要書類
<input checked="" type="checkbox"/>	特定子ども・子育て支援の提供に係る領収証兼提供証明書(利用した施設の領収証及び特定子ども・子育て支援提供証明書)
<input type="checkbox"/>	活動報告書(ファミリー・サポート・センターを利用した場合のみ添付が必要)